



THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO
CHARTERED ON NOVEMBER 21, 1955

2019年3月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(YMCA561)5217

札幌クラブ

The Service Club of YMCA
The International Association of Y's Men's Clubs

BF/Menette

BF 基金/メネット

— 主 題 —

国際会長 「Yes, We can change」
アジア会長 「Action」「アクション」
東日本区理事 「為せば 成る」
北海道部部长 「その先のワイズへ」
札幌クラブ会長 「楽しいワイズ」

Moon Sang Bong (韓国)
田中 博之 (東日本)
宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)
二本松能敬 (北見)
柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ役員

会長 柴田 伸俊
副会長 伏木 康
書記 小野 健
会計 秋葉 聡志
直前会長 柴田 伸俊

今日の聖句

後の者が先になり、先の者が後になる」
マタイによる福音書 20 章 16 節 佐藤雅一選

札幌は美しき北の都なり

中田靖泰

毎年、多くのワイズメンが会議や商用や観光で札幌にお出でになります。薄野だけご覧になって「札幌はよかった」なんてことがないように、ちょっとワイズな札幌案内をお読み下さい。



札幌駅南口を降りて、駅前通りを南へ 4~500メートル歩いて下さい。札幌を南北に分ける大通公園に着きます。すぐ左側の木立の中に石川啄木の歌碑が立っています。(啄木は座っていますが。) 啄木が札幌を訪れたのは明治40年9月14日、冷たい秋風が吹き始めるころでした。詠んだは、

しんとして 幅広き広き街の 秋の夜の
玉蜀黍(とうもろこし)の 焼くるにほひよ
でした。裏面もご覧ください。啄木の札幌賛歌が刻まれています。

札幌は寔に美しき北の郷なり。初めて見たる我が喜びは何にたとえん。アカシアの並木を騒がせ、ポプラの葉を裏返す風の冷たさ・・・おほらかに静かにして、人の香よりは、樹の香こそ勝りたれ。大いなる田舎町なり、しめやかなる恋のありそうな郷なり。詩人の住むべき都会なり。(秋風記)

ちょっと寄り道して啄木が小樽を詠んだ歌。

悲しきは 小樽の街よ うたうこと
なき人々の 声の荒さよ

可哀そうな小樽。

啄木碑の先、駅前通りを更に50メートル南下。通りの右側、公園の南側に吉井勇の歌碑が立っています。札幌市民が大好きな歌です。



家ごとにリラの花咲き札幌の
人は楽しく 生きあるらし

吉井勇は「かにかくに祇園は恋し・・・」だけの歌人ではありません。

大通公園を西へ7~800メートル歩いていくと左側に有島武郎の「小さき者へ」の碑があります。友人の武者小路実篤の筆になるあの有名な結びの言葉です。

小さき者よ。不幸なそして同時に幸福なお前たちの父と母の祝福を胸にしめて人の世の旅に登れ。前途は遠い。そして暗い。しかし怖れてはならぬ。恐れない者の前に道は開ける。行け。勇んで。小さき者よ。

(p. 4 右欄に続く。)

2019年2月例会
出席報告

在籍会員 8名 例会出席 6名 メネット 0名 コメント 1名 メーカーアップ 0名
ゲスト 1名 ビジター 0名 計 24名 出席率 75%

札幌ワイズメンズクラブ 2019年3月例会

日時： 2019年3月26日（火）18:30～20:30

場所： 北海道YMCA 101教室
札幌市中央区南11条西11丁目

☎ 011-281-2511

会費： 1,000円

プログラム

- | | | |
|-----------------|---------|-------|
| | 司会 | 伏木 康 |
| ① 開会点鐘 | 札幌クラブ会長 | 柴田 伸俊 |
| ② ワイズソング・ワイズの信条 | | 全 員 |
| ③ 聖 句 | | 佐藤 雅一 |
| ④ 誕生日、結婚記念日 | | なし |
| ⑤ 卓話 | | |

「東日本地区YMCA スタッフ研修に参加して

被災地は今」

先本 充志さん

YMCAチャイルドケアセンタースタッフ

- ⑤ 諸報告
- ⑥ YMCA報告 担当主事 佐藤雅一
- ⑦ 今月の歌

「さくらさくら」



- ⑧ 閉会点鐘 会長 柴田伸俊俊

札幌ワイズメンズクラブ2月例会

日時： 2018年2月19日（月）17:30～19:30

場所： 北海道101教室

出席者：秋葉、佐藤、柴田、伏木、中田、宮崎
コメント：伏木健太君 ゲスト(卓話者)西脇隆二
大学の異色ある取り組みとして注目を浴びている「北星ワイン」を指導する西脇教授をお招きして10年の苦闘の歴史を聴き、固定観念を打ち破って初めて進歩があること教えられました。



札幌ワイズメンズクラブ2月事務会

札幌ワイズメンズクラブ 2月事務会

日時： 2019年2月26日（火）19:00～

場所： 北海道YMCA 総主事室

出席者：秋葉、佐藤、柴田、

1. 3月例会、巻頭言、聖句

日時： 2019年3月26日（火）18:30～20:30

場所： 北海道YMCA 101教室

司会： 伏木 康

卓話者：先本充志（さきもと・あつし）さん

YMCAチャイルドケアセンタースタッフ

東日本地区Yスタッフ研修で

福島被災地派遣に関して

卓話：「東日本地区YMCA スタッフ研修に

参加して～被災地は今」

誕生日、結婚記念日： ともになし

巻頭言： 中田靖泰

聖 句： 佐藤雅一

2. 札幌クラブ次期役員（伏木次期会長）

3. 東日本区次期役員研修会

2019年3月9日（土）～10日（日）

宮崎次期部長と伏木次期会長出席

4. 北海道部次期役員（宮崎次期部長）に関して

4月27日（土） 第一ホテル

㊦ ホテルは手配済み 12:45～19:45

㊦ 第一報・・・2月中に案内済

㊦ 第二報・・・3月上旬

㊦ タイムスケジュール作成・・・別紙

※ 近日三役にて打合せ予定

5. 3月事務会

日時： 2019年3月28日（木）19:00～

何故この聖句を 担当主事 佐藤雅一

SDG's が掲げている「誰一人取り残さない」を実現するには、弱者に手を差し伸べる発想から、構造を逆転させる発想が必要に思います。イエスは取り残された人こそ最初に生きるに必要な富を受けるのが神の国だと語っています。神の国は天国にあるのではなく、人と人との間にあるとも語っていますが、YMCAではポジションネットとして具現化させたいと願っています。

北星大学ワインプロジェクト10年を終えて思うこと 北星大学教授 西脇 隆二



西脇隆二氏

北星学園大学経済学部教授
「マーケティング」「流通サービス経営論」などを担当。実践的な教育を目的として10年前より「北星学園オリジナルワインプロジェクト」を実践中。

北海道に来て不思議にそして残念に思ったことがあります。それは北海道ではワインに最適な品種のブドウが生産されているのにあまり知られていません。それにワインはなんとなく高級志向があって若い人達にはあまり飲まれていません。なんとかこのイメージを打破してワインをもっと身近なものにして地方貢献ができないものかと思いました。

私の専門は「マーケティング」ですが、かねてから、学問は机上だけとするものではなく active learning でなければならないと思っていました。様々な思いからこの「北星ワインプロジェクト」を学生たちと一緒に始めたのです。「キリスト教系大学がワインとは！」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、実は世界中にワインを広げたのに預かって力があつたのはキリスト教の宣教師なのです。〈注：北星学園大学はサラ・スミスがこのイメージを打破してワインをもっと身近なものにできないか。1887年札幌に開設したキリスト教系の北星女学校を基にしています。〉

そこで10年前セミの一環として、浦臼町 鶴沼ワイナリーの協力を得て、学生たちと一緒に、毎年畑の剪定やブドウの収穫をお手伝いし、その年に完成するワインボトルのエチケット（ワインラベル）をゼミ生がデザインし、どのような市場で消費の可能性があるかをマーケティングします。10年を終えて、学生も私も「行動し継続することの大切さ、地域と人、食文化をつなぐこと、自発的なアイデアの重要性、など多くを学びました。1お年を振り返ってみます。

1年目(2009年) 4月からぶどう園入り。11月最初の「北星ワイン」が完成。関係者、マスコミに集まって頂き試飲会を開きました。「大変飲みやすい」、「味がしっかりしている」と高評価を頂きました。エチケットは「北星」でした。



2年目(2010年) 従来のワインのイメージを再検討し、若者たちに合うワイン、そしてワインスタイルの創造に挑戦しました。エチケットは「和音(ワイン)」でした。

3年目(2011年) 3月11日、「東日本大震災」が起こり、日本中が大混乱に陥っている中でのスタートでした。ワインを通して、人と地域、そして国同士の架け橋となることを願って、エチケットは「架け橋」としました。

4年目(2012年) 西脇ゼミのテーマである「物語マーケティング」を追求するため北星ワインの原料のぶどう生産地である浦臼町の開拓に尽力した坂本直寛(注：名維持時代の自由民権家。キリスト教牧師。坂本竜馬の甥。)をテーマにしました。エチケットは「from No.9」です。

5年目(2013年) 昨年取り組んだ坂本直寛の想いを表現しようとエチケットは「尊農 JOY」としました。

6年目(2014年) 6年目の節目を迎え、海外進出を視野に入れました。まず身近なアジアの国々、中国、韓国、タイ、台湾をターゲットと定め、まず台湾を訪問し、調査・研究を始めました。漢字圏向けエチケットは「歓杯」です。

7年目(2015年) コンセプトは前年を引き継ぎアジアへの販売です。台北駅構内でラベルのデザインの好み調査、台湾のワイン消費事情調査を実施。エチケットは「土産幸(道産子・ドサンコ?)」

8年目(2015年) 8年目は2年続けた台湾から香港へと調査を広げました。北海王の何をウリにすべきかに苦心しました。結果のエチケットは「新風爽快」です。

9年目(2016年) 9年目のコンセプトは「経験価値の創造—自分と向き合う大切な時間にこの一本」でした。エチケットはその思いを込めて「ひととき」としました。

10年目(2017年) ついに10年。まだ10年。“Shine like a star”と説いた創立者サラ・スミスの願いを表すような10個の星と十字のデザインしました。エチケットは「北星X」。



YMCA ニュース

担当主事 佐藤 雅一

① 北海道 YMCA 創立記念日集会

W・クラーク博士から聖書による教育を受けた札幌農学校の1期生と、1期生の強い影響を受けた2期生による札幌バンド(キリスト教信仰によって強く結びつけられた青年の集団)の青年たちを礎として1897年に結成された札幌基督教青年会によってYMCA運動が始まり、今年122年目を迎えました。

4月1日を創立記念日と定め、創立の思いに立ち返ると共に、ミッションステートメントに示された働きを確認し、YMCAの願いを多くの人に伝え、共に学び合う時として創立記念礼拝・講演会を開催します。今年、有坂 美紀さんを講師にお迎えし、地域から始めるSDGs—北海道からアジア、そして世界へ—をテーマにお話しいたします。

時節がらお忙しいとは存じますが、ぜひ多くの方々にご参加頂きたくご案内申し上げます。

日時 2019年4月7日(日) 13:15~15:45

会場 かでる2・7 730 研修室

札幌市中央区北2条西7丁目 7F

第1部 記念礼拝 13:15~14:00

第2部 講演会 14:00~15:45

テーマ:「地域から始めるSDGs
 ~北海道からアジア、そして世界へ~」
 講師:有坂 美紀さん

北海道YMCA国際協力委員

RCE道央圏協議会事務局長

フェアトレードタウン戦略会議事務局長

参加費無料*ご参加の方は、下記までご連絡下さい。

② 中国 成都 YMCA 来札

昨年9月に来札予定でしたが、地震により中止になった、中国成都YMCAの総主事・メンバーが6月に来札する予定で準備を進めています。

現在の予定では、6月17-23日で札幌での交流プログラムに加えチミケップキャンプ場の訪問も検討しています。

ワイズの皆さんとの交流も是非組み込みたいと考えていますので、ご協力お願いします。



p.1「巻頭言」から続く:

この碑の前に立つといつも有島に「小ききクラブよ」と言われてれているような気がします。

札幌には「時計台」「クラーク像」「札幌ビール園」の他にも見どころは沢山あります。最後に時間が余ったら(余らなくても)中央区南11条西11丁目の北海道YMCAにもお立ち寄りください。

2月、3月のYMCA行事、準備

▼ Y'sベル杯 3月3日(日)

アイスコーヒー (出席者) 柴田、
 (欠席) 秋葉、宮崎、伏木、佐藤、

▼ ユースリーダー研修会 3月12~13日

伏木会員が木田スタッフと打合せする。
 3月12日ワイズ訪問決定(2/27伏木会員よりメール)

▼ YMCA 卒業式 3月17日(日)

(欠席) 柴田、伏木、

▼ 創立記念集会 4月7日(日)

(出席者) 宮崎、(欠席) 柴田、伏木

▼ ピンクTシャツ 1,100円

注文受け終了したが、
 佐藤スタッフが在庫確認

3. その他:

▼ 8月部会の会場

杉沢さんのホテル当たる。東急ステイ大通

▼ 札幌マラソン 8月25日(日)に決定。

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
 権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
 社会には奉仕第一を旨としよう。